

# 実績報告書

届出者	住所	大阪府大阪市東住吉区矢田 2丁目14番19号	氏名	学校法人 塚本学院 理事長 塚本邦彦
特定事業者の主たる業種		81学校教育		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		大学・短期大学・専門学校・幼稚園における学校教育		

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1) 計画期間	
平成 27 年 4 月 1 日～	平成 30 年 3 月 31 日 (3年間)

(2) 前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度( 26 )年度	前年度( 28 )年度
温室効果ガス総排出量	7,676 t-CO <sub>2</sub>	7,439 t-CO <sub>2</sub>
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	8,740 t-CO <sub>2</sub>	8,434 t-CO <sub>2</sub>
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量	0 t-CO <sub>2</sub>	

(3) 温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (29 年度)	第1年度 (27 年度)	第2年度 (28 年度)	第3年度 (0 年度)
選択	レ	削減率(排出量ベース)	3 %	3.1 %	3.1 %
		削減率(原単位ベース)	0 %	0 %	0 %
削減率(平準化補正ベース)		— %	3.7 %	3.5 %	0 %
吸収量による削減率		0 %	0 %	0 %	0 %

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値 ( )	
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

(4) 温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理)

<p>年間電力使用量の削減のため、夏休み、冬休み等のエアコン使用対策を実施したが、夏季は外気温度が例年より高かったため、削減が出来なかったが、冬休み等は削減を図ることができた。</p>	
<p>28年度もエアコンを省エネ型エアコンへの更新、照明の(LED化)を計画的に実施した。</p>	

◎ 温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化のための対策

(1) 推進体制

①「省エネルギー推進委員会」による方針、目標を再度決定し、学院全体それぞれの取組み項目を定める。②設備面では、省エネルギー設備への更新、導入を計画的に実施する。

電気の需要の平準化のため、設備面では、夜間電力使用設備の導入、管理面では、最適運転開始時間の設定と、運転時間の効率化を図る。また、室温設定についても最適化を図る。

(2) 温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化のための対策の実施状況

1. 産業・業務分野

No.	温室効果ガス (GHG) の排出 及び人工排熱 の区分	事業所名	対策項目	対策の内容	実施スケジュール (年度)
1	レ GHG排出	大阪芸術大学	コード(1218) 既設照明設備を(LED)に更新する。	既設照明設備を省エネ効果の高い、照明設備(LED)に更新する。(削減効果 28t-CO2)	27 年度
	人工排熱				29 年度
	平準化				
2	レ GHG排出	大阪芸術大学	コード(1216) 省エネ型エアコンに更新する。	設置後15年以上経過している消費電力の大きいエアコンを省エネ型エアコンへ更新する。(削減効果 210t-CO2)	27 年度
	人工排熱				29 年度
	平準化				

2. 自動車分野

No.	温室効果ガス (GHG) の排出 及び人工排熱 の区分	事業所名	対策項目	対策の内容	実施スケジュール (年度)
1	GHG排出		コード		年度
	人工排熱				~
					年度

(3) その他の抑制対策
